

## 諸外国の公衆衛生看護活動 イギリス その2 ～SCPHN 教育改革～

### 1. SCPHN の資格

UK では Specialist Community Public Health Nurse (SCPHN) が公衆衛生の最前線で活動する看護職です。The Nursing and Midwifery Council (NMC)の認可を受けた教育機関で教育を受けた人が SCPHN として登録されます。NMC は UK 全土の看護師と助産師、および、イングランドの看護助手の教育的・職業的条件を定め、実務を行う資格のある専門家の登録を管理する規制機関です。NMC は、看護師、助産師、看護助手などの専門職について懸念があれば調査を行います。また、NMC は、専門家と一般市民を支援し、医療と社会的ケアに影響を与えています。

SCPHN になるには、看護師(Registered Nurse)もしくは助産師(Registered Midwife)をもっている必要があります。看護師は、成人看護、小児看護、精神保健看護、学習障害看護の4種類にわかれています。

SCPHN には主に4種類あります。①ヘルスビジター (HV)：母子を専門、22,192人、②スクールナース (SN)：学校保健を専門、4,196人、③産業保健師 (OHN)：産業保健を専門、2,941人、④保健師 (PHN)：特化した分野をもたない、312人となっています(①～④の人数は2023年3月31日現在)。

### 2. SCPHN 習熟度基準の変更

NMC は2022年7月に新しい SCPHN の習熟度 (proficiencies) の基準を公表しました。

<https://www.nmc.org.uk/standards/standards-for-post-registration/standards-of-proficiency-for-specialist-community-public-health-nurses2/>

ヘルスビジターには長い歴史がありますが、社会や公衆衛生が変化する中で、SCPHN の習熟度基準に反映する必要がありました。健康格差の広がり、児童の保護の増加、COVID-19 パンデミックの社会への影響、社会の多様化、など社会のあり様が変わるなかで、SCPHN に求められる習熟度が変わってきています。また、地域では多様な職種の人が働いています。その中で、SCPHN の能力を明らかにし、他の職種とは異なることを明確にする必要があります。この基準は20年、30年先を考慮して作成されました。SCPHN の基準は、NMC 単独で決めることはできません。大学だけでなく、ヘルスケア提供者、学生、サービス利用者などとワークショップなどを行って多くの準備が行われました。最も議論になったことは、SCPHN が薬剤の処方をするか否かということでした。結局、コンセンサスは得られず、薬剤の処方は大学とヘルスケア提供パートナーがオプションとして含めるかどうかを選択することとなりました。

公衆衛生と公衆衛生看護は、自律性をもち自己決定することをこれまで通り大切にしています。自律性というのは多職種チームで働かないということの意味ではなく、専門的な判断ができ、その判断を健康に関する責任者に説明できるということです。また、

パンデミックの際に明らかになったように研究、疫学、データの知識をもって公衆衛生の状況を分析する能力を発展させる必要があります。

### 3. SCPHN の教育改革

NMC の承認を受けた 96 教育機関のうち、SCPHN の教育を提供しているのは 60 機関です。45 週まで 1 年間のフルタイムまたは 90 週 2 年間のパートタイムプログラムを受講するコースがあります。カリキュラムは、理論と実践現場での学習をバランスよく提供するものとなっています。教育プログラムを承認する際は、実践現場での学習環境もあわせて審査されます。

NMC は 2022 年 7 月に新しい SCPHN プログラム基準を発表しました。

<https://www.nmc.org.uk/globalassets/sitedocuments/standards/2023-pre-reg-standards/new-vi/standards-for-post-registration-programmes.pdf>

2022 年 7 月の SCPHN 習熟度基準の変更を受け、各大学は実践現場の教育担当者とともに基準を反映した教育プログラムを作成しています。各大学は、2024 年 9 月までに新しい教育プログラムが NMC の承認を受けられるように進めています。NMC は承認後もモニタリングを行います。

さらに、2022 年 SCPHN 習熟度基準に照らして承認されたすべてのプログラムは、修士レベル以上で提供されなければならないように変更されました。これは、修士レベルのより高い知識と技術が求められるということであり、また、公衆衛生で働く看護師との違いを明確にする必要性もあるからです。

#### \*\*\*お話を伺って考えたこと\*\*\*

日本も保健師教育の大学院化が推進されていますが、UK では一斉に修士レベルに変更になります。その背景として COVID-19 パンデミックなどの社会の変化があり、保健師に分析能力や判断力が一層求められるようになったという点は日本も同様だと思いました。

日本の看護師国家資格は専門領域で分かれています。UK では看護師の段階から専門領域でわかれており、専門性が明確になっていることがわかりました。私がお会いした SCPHN の方も小児看護を経験してからヘルスビジターになった方が複数名いました。そのため、親子保健に関して専門性が高いと感じました。

看護が病院から地域へと拡大していく中で、地域ではさまざまな職種の人が働くようになりました。その中で保健師の専門性をより明確に打ち出していく必要性が高まっていることを改めて感じました。

本報告は、2023 年 7 月 14 日に NMC を訪問した際に説明を受けた情報をもとに作成したものであり、NMC 担当者の加筆修正が行われました。

2023 年 10 月 4 日

文責：国際委員会 蔭山正子